

姫路の 星空



1月15日 21時

2月1日 20時

※月は描いていません

一番星：昨年末までの金星（宵の明星）に代わって、東の空の木星が一番星になります。

冬の星（東から南の空の高いところ）

冬の三角：おおいぬ座のシリウス（全天一明るい恒星、距離 8.6 光年）、こいぬ座のプロキオン（11 光年）、オリオン座の肩の星ベテルギウス（640 光年）が正三角形に並びます。

オリオン座：2つの一等星ベテルギウス（橙色）とリゲル（白）があり、「三つ星」も目立ちます。

おうし座：1等星アルデバラン（橙色）とV字型の星のならび「ヒヤデス」が顔、長い角と星の集まり「すばる（プレヤデス星団）」が見所です。

ぎよしゃ座：五角形と1等星のカペラ（黄色）が目立ちます。

ふたご座：明るい2つの星カストル（兄、2等星、白）とポルックス（弟、1等星、橙色）が双子たちの頭の星です。

春の星（東の空の低いところ）

北斗七星：北東の空に見え、北極星を探す目印にもなります。おおぐま座の腰としっぽの星たちです。

しし座：？の裏返しが目印です。